

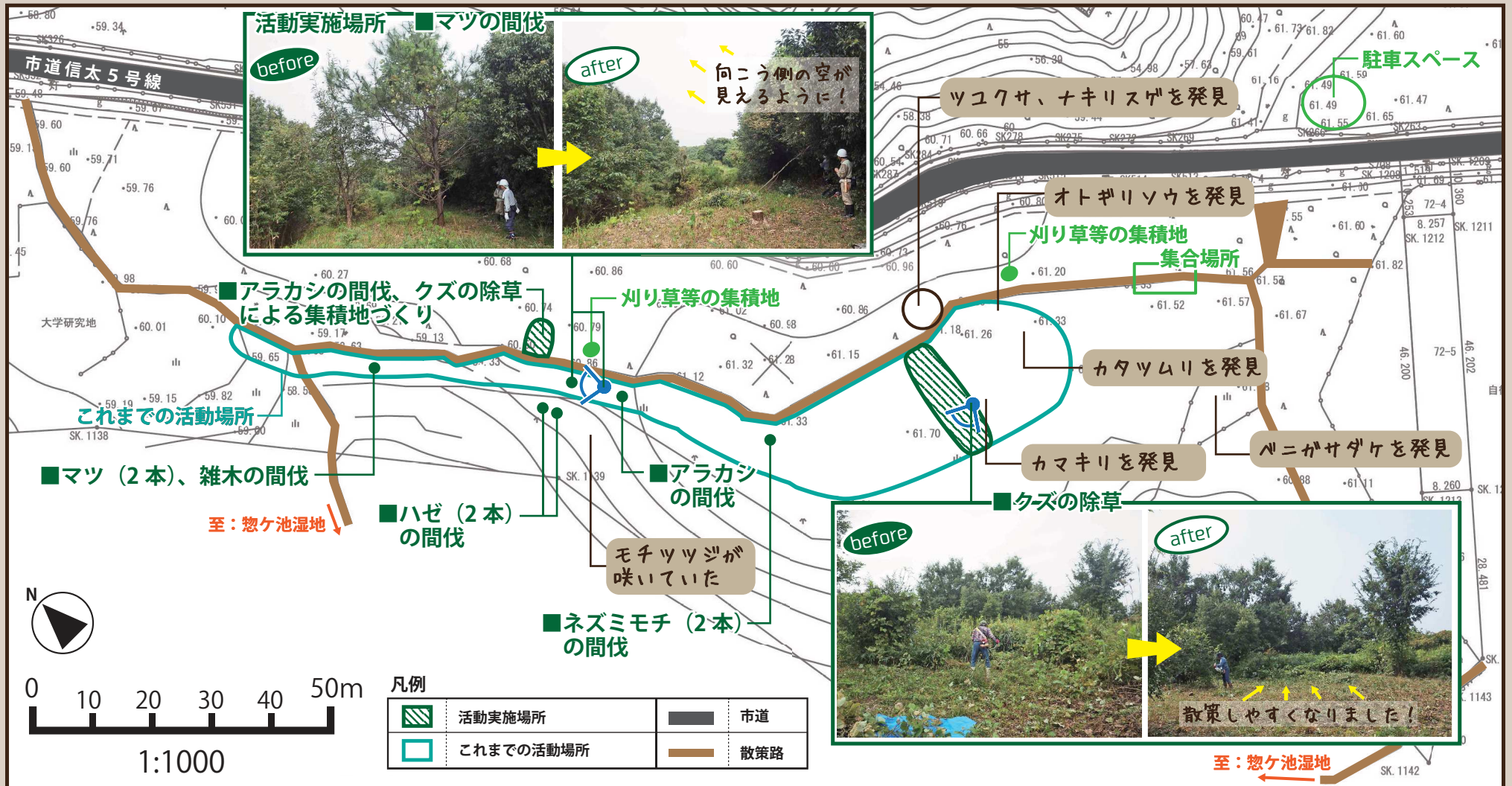
保全活動日記 vol.3

2016年10月2日(日)

● 保全活動実施報告

- 実施日：2016年10月2日(日)
- 時間：9時00分～12時00分
- 天気：くもり
- 参加人数：34名

● 活動内容：今回は、2つのグループに分かれて、除草と間伐を行いました。除草では、半年前に除草した後にクズが成長し生い茂ってしまった場所を、クズの繁殖力を弱めるために再度除草しました。間伐では、散策路の邪魔になる木を間伐しました。活動を重ねるに連れて、どんどんと散策路の見通しが良くなっていきます。



④ 切り株パンチ！？

間伐を行った木の中には、樹高が5m程の大きなマツが…。慎重にチェーンソーで切り倒すと、ズドンという重みのある音と共に倒れました。切り株の年輪を数えてみると樹齢は15年とのこと。太めの切り株は腰掛けるのに丁度良いサイズのように、休憩時にはさっそく座っておられる場面も見られました。



よいしょ！



15年！



ちょうど良いよ

でも松ヤニがバタバタ…。

④ 葉っぱのバツタ

今回の活動には、小さなお子さんも参加されており、大人の参加者の方が、葉っぱ遊びを教えてあげていました。細長い葉っぱを編みこんでいくと、今にも飛び出しそうなバツタの完成！「大きな葉っぱで作ると、トノサマバツタができるよ」そんな風に教えてもらって「すごい！」とお子さんが喜んでいました。



すごい！！

④ 来年は秋の七草が…

藤原先生が、信太山丘陵の市有地内で、秋の七草のオミナエシを発見されたとのこと。今日の活動場所も草刈りを続けていけば、キキョウなどの秋の七草が見られるかも！「来年に秋の七草が見られるようにクズと戦いましょう！」と、今後の目標になるお話がありました。

頑張りましょう！



④ 今回の大発見！



オトギリソウ

昔鷹匠の兄弟が、鷹が傷ついた時の治療薬として、オトギリソウを仲間に秘密で使っていました。弟が秘密をバラし、怒った兄が斬り殺したという怖い伝説からオトギリソウ(弟切草)と名づけられたそうです。



ツユクサ

青い花びらは、昔着物を絵付けする際に、下絵用の染料に使っていたそうです。



ベニガサダケ

真っ赤な色が特徴で、上から見ると花びらが落ちているように見えます。毒がありそうだけど食べられるんだって。

※類似の毒キノコがある可能性があります。食べないようにしましょう。



ナキリスゲ

葉の縁が、菜っ葉を切ることができそうぐらい鋭いから、ナキリスゲと名づけられたそうです。



カマキリ



カタツムリ



モチツツジ

クズの中に一輪のモチツツジが！今後の目標植生であるツツジ林に一歩ずつ近づいているのかも…。